

分類	重点実施事項	実行計画	評価指標	目標値	H27.4～H28.3	H28.4～H29.3
顧客の視点	地域包括ケアシステムの一翼を主体的に担う	①地域の住民の方々に情報と安心を提供する福祉の拠点づくり	地域住民からの信頼	1か所	情報収集中	印西市総合福祉センターの指定管理者公募において、印西市社協との共同事業体としての受託（H29.4～）が決定した。
		②地域包括支援センターの他地域への拡大	地域確定と情報収集	1か所	船橋市三山・田喜野井地域包括支援センターの受託決定（H28.4～）	印西市本埜地域包括支援センター運営事業業務委託法人に継続して選定された。
		③医療との連携	医師とのコミュニケーション	合意形成	定期的な情報及び意見交換の場の設定。（8月7日）	地域の病院と協力病院契約をした。
		④アクションプラン2020の活用	評価項目のクリア	全項目クリア		毎月の管理者会議でチェックリストを検証した。
業務プロセスの視点	6プロジェクトの推進	①施設長及び管理者クラスのエリア認識の強化	地域との対話	月1回以上	管理者会議（月1回）で報告	認知症カフェを定期的に開催した。（船橋 三山,田喜野井包括主催）
		②拠点間の有機的繋がりの強化	親睦会の充実	年2回	H27.4月26日に新人歓迎会実施 H28.1～2月に3地区で食事会実施	H28.4月16日に新人歓迎会実施 H28.10～12月に食事会,観劇会実施
		③職種間連携の強化	情報交換の場	年2～3回以上	法人内介護支援専門員連絡会の実施	法人内介護支援専門員連絡会の継続実施、及び社会福祉士全体研修の実施。
		④拠点間温度差の是正等	理念の理解	職員アンケート指標	ベストプラクティス・エピソード集の対新人共有化計画立案	職員満足度アンケートを実施。11月～12月
人材と変革の視点	六親会独自の事業の具体化に向けての方向性確立	①介護人材教育システム	認可	システムの稼働	コーチング教育研修計画の策定	一般社団法人高齢者福祉事業支援協会を設立した。
		②次世代管理者育成システム	キャリアパス	逐次の面接	経営品質研修参加（3名、9月）	全国経営協主催の「経営塾」に法人幹部2名参加した。
		③生活困窮者支援システム	デュアルシステム実行	1人	対象者選別中	デュアルシステム対象者1名登録した。
		④収益事業の発掘等	地域との対話	1事業	調査中	全社協の「介護職員実務者研修」のスクリーニングを（一社）高齢者福祉事業支援協会で受託した。
社会的責任の視点	地域公益事業の取り組みと、投下資本の明確化	①地域を巻き込んだ買物難民支援事業等の推進とコスト管理	地域の理解	地域住民の反応	印西市本埜支部社協事業として、協働にて年4回、買物ツアー実施。	印西市本埜支部社協事業として、協働にて買物ツアーを継続実施。
	財務の健全性推進	①資金計画表の遂行遵守	資金収支予算表	遂行遵守	月次で管理者会議にて精査報告	月次で管理者会議にて精査継続報告
②各事業所レベルでの月次予算管理の徹底		事業所別収支計算書	経営感覚の養成	財務諸表の読み方デモンストレーション実施	資金収支計算書の書式を見直し、昨年度対比、当初予算対比を工夫した。	